



佐藤 高清 議員
無会派

問 火の見やぐらの現状と今後は？

答 3年後を目途に撤去



▲市内に設置された火の見やぐら

問 火の見やぐらの設置数、設置場所、使用状況は。

答 総務部長 全17箇所。本市が所有。内11箇所を消防団が利用。残り6箇所を自主防災会が利用している。

問 管理状況は。

答 総務部長 市・消防団・自主防災会が各々管理している。

問 劣化具合をどこまで把握しているか。

答 総務部長 建築年ははっきりしないが、老朽化の進みは把握している。

問 今後の在り方は。

答 市長 3年程度を目途に撤去し、代替えのホース干しも整備していく。費用としては、撤去費用1本約120万円、ホース干し設置費用1台約140万円必要である。

問 弥富市としての生涯学習とは？

答 全ての市民が輝く事業を展開！

問 生涯学習の概念と認識は。

答 教育部長 時代変化やニーズに合わせ、より新しいプログラムを提供し、市民の生きがいづくりを実現する方針。

問 運営と各部の連携実態は。

答 教育部長 福祉、教育などの関係各課が連携し合い、事業を運営していく。

問 現体制での強みや弱みの自己分析は。

答 教育部長 強みは市民同士、市民と職員が顔の見える関係であること。弱みは地区別の人口格差、団体の人材不足、やや行政依存傾向にあること。

問 住民サービスの向上へ

答 教育部長 地域活動の輪とネットワークを広げ地域力の向上を目指す。

問 藍亭の竣工式及び服部擔風先生（一）の生誕150年記念事業は。

答 教育部長 現在の本市鯛浦出身の明治・大正・昭和にかけて活躍した漢詩人・書家。本市の名誉市民。

答 教育部長 竣工記念事業は29年4月の森津の藤まつりに合わせ開催。歴史民俗資料館での特別展、及び講演会を計画していく。



▶ 藍亭（現平島町地内）